

ときめき人

Tokimeki bito



ラジオから 舞台から 届けていきたい 「自然な私」

石越町
長谷川 鈴さん

はせがわ・りん
1985年生まれ 血液型 / AB 型

Profile

2004年、追桜高卒業後、都内のミュージカル専門学校へ入校。卒業後は、劇団「音楽座」(現Rカンパニー)に所属し、自身が目指す演技を追究する。10年からは H@FM のパーソナリティーとして活躍。劇団どんちょうの会に所属し、パーソナリティーと演者の二束のわらじを履く。目標は女優の戸田恵子。長谷川鈴はパーソナリティーネームで本名は非公表。家族は、父、母、妹と愛犬。

長谷川さんは、H@FM(はっとエフエム)開局当初からパーソナリティーを務め、現在「H@PPY RingRing MORNING」を担当しています。「やりがいがあり魅力的な仕事」という長谷川さん。しかし、パーソナリティーは目指していた道ではなく、ちょっとした偶然から出会ったものでした。

幼い頃から歌や演技が大好きで、高校時代は演劇部に所属。夢は、好きな歌も演技もできるミュージカル女優でした。高校卒業後、夢をかなえるべく上京。ミュージカルの専門学校へ入校し、3年間勉強した後、劇団「音楽座」へ入団しました。活動が軌道に乗り始めた頃に転機が訪れます。父が病に倒れ入院。当時、妹はまだ高校生で、母が頼れる家族は鈴さんだけでした。帰郷後は、母を支えながらアルバイトと、ボランティアでH@FM開局の準備

を手伝っていました。開局時には、自然な流れでスタッフとして入社。これがきっかけで、パーソナリティー「長谷川鈴」が誕生したのです。

豊かな表現力で番組は好評でしたが、リスナーやスタッフから「自然な鈴ちゃんの声が聴きたい」と言われていました。「自然に話しているつもりだったんですけどね。話し方や気持ち、いろんなことを変えてみたのですが、うまくいかずかなり悩みました」と当時を振り返ります。

いつの頃からか「自然な鈴ちゃん」と言われるようになりました。「内面を話せるようになってから『自然だね』と言われるようになりました」。

ラジオでも、舞台でも、大切なのは自分を見せること。今日もまた「自然な鈴ちゃん」の声がラジオから流れています。

編集後記

▼物事を進めるとき「できるか、できないか」で考えてしまう。でもそうではない。「やるか、やらないか」のどちらかだと仲間と言われたことがある。「やる」と決めたらやり通すまで。叱咤激励してくれる仲間感謝。(及川)

▼4月から広報を担当することになりました。取材で多くの皆さんに会えるのが楽しみです。一人でも多くの皆さんに読んでもらえるような広報づくりをしたいと思っています。よろしくお願いします。(千葉)

▼今号では特集を担当。取材して感じたことは、自分で変えなければ、何も変わらないということ。誰かが機会を与えてくれるかもしれないませんが、それをどうするかは自分次第。「自分のために」健康づくりを始めてみませんか。(田代)

▼4月から別部署に異動となりました。この3年間で振り返ると、たくさんの人に支えられていたと感じます。本当にありがとうございました。(佐藤)

